



学校だより **本荘** Smile

2024

令和6年度 第30号
令和6年11月8日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

本荘秋祭りその3 フィナーレ。竹あかりと秋の夜。



近日中に、本荘小HPにアップロードいたしますので、ぜひ！カラーで見たいと思います。今回の「竹あかり」に参加された方は十分に堪能されたでしょうが、久しぶりに心が揺さぶられる思いでした。

秋祭りの終了後、体育館を時間限定で開放しました。暗闇の中で待っていたのは、美しい光のイルミネーション「竹あかり」でした。こどもたちが製作した竹筒を体育館にきれいに飾っていただきました。秋祭りのフィナーレにふさわしい秋の夜となりました。

こどもたちもご家庭の皆様も大喜びで記念撮影をされていました。こどもたちがつくった作品を大事にしてくださいだけでなく、このような芸術にまで高めていただけたことに感謝の思いでいっぱいでした。



「CHIKAKEN」さんのHP ([CONCEPT | CHIKAKEN | 竹あかり総合プロデュース ちかけん](https://chikaken.com/concept/)): <https://chikaken.com/concept/>) を拝見すると、以下のようなコンセプトが書いてありました。

※裏面に続きます

竹あかりの価値は、その根源的な美しさとともに、人と人、人と土地、人と自然を繋げるところにあります。私たちのミッションは、竹あかりを新たな日本の“文化”にまで昇華させることです。このミッションを実現させるために、3つの「わ」を広げていきます。

「輪」人と人の繋がり
「環」持続可能な環境
「和」日本文化としての和

私たちはこの3つの「わ」の広がりともに、「竹あかりで人々が生き生きとし、まちがよくなれば、国もよくなり、世界が良くなる」という信念のもと、日本全国、世界各地で竹あかりを創造し続けます。

なんとすばらしい言葉なのでしょうか。この秋祭りのコンセプトにもつながる、そして、これからの学校が地域とともに目指すべきことと全く同じなのです。

令和6年度の秋祭りがこのようなフィナーレで感動的に閉じたことで、令和7年度の150周年記念行事に向けて気持ちを新たにしました校長でした。（校長）

校長先生の虫眼鏡 「種明かし ^」

実はこうなっていました。手伝ってくださった方々、ありがとうございました。

